

共通事項

溶接継手の表示記号	
溶接工法	分類
アーク手溶接・ガスシールドアーク半自動溶接	H
サブマージアーク自動溶接	BA, PA
エレクトロスラグ自動溶接	BE
溶接継手	記号
完全溶込み溶接	突合せ継手 B
	T形継手 T
隅肉溶接	F
部分溶込み溶接	P
フラア溶接	FL
ビルトボックス柱かど溶接	完全溶込み溶接 BA
	部分溶込み溶接 BP
ビルトボックス柱・鋼管断面柱現場溶接	BG
溶接面	
片面溶接	1
両面溶接*	2

区分	記号
現場溶接	
全周溶接	

*両面溶接とは、裏はつりの有無にかかわらず、鋼材の表裏と裏側の両面より溶接を行なうものとする。

溶接開先基準図

突合せ溶接における両面溶接は、原則として裏はつりを行なう。ただし、自動溶接において完全溶込みが得られる場合には、裏はつりを省略してもよい。

完全溶込み溶接		突合せ継手 (B)		T形継手 (T)		部分溶込み溶接 (P)	
Sは補強隅肉溶接のサイズを示す。		Sは補強隅肉溶接のサイズを示す。		Sは補強隅肉溶接のサイズを示す。		Sは補強隅肉溶接のサイズを示す。	
H (アーク手溶接・ガスシールドアーク半自動溶接)		H (アーク手溶接・ガスシールドアーク半自動溶接)		H (アーク手溶接・ガスシールドアーク半自動溶接)		H (アーク手溶接・ガスシールドアーク半自動溶接)	
1 (片面溶接)	2 (両面溶接)	1 (片面溶接)	2 (両面溶接)	1 (片面溶接)	2 (両面溶接)	1 (片面溶接)	2 (両面溶接)
t ≤ 6		t ≤ 6		t ≤ 6		t ≤ 6	
6 < t ≤ 19		6 < t ≤ 19		6 < t ≤ 19		6 < t ≤ 19	
19 < t		19 < t		19 < t		19 < t	

※有効溶接長さは溶接の全長から隅肉サイズの2倍を引いた長さとする。
 ※有効溶接長の最小値は、隅肉サイズの10倍以上かつ、40mm以上とする。

裏当て金、エンドタブ

*裏当て金、エンドタブの材質は原則として母材と同材質とする。ただし、監理者と協議の上、溶接に支障のない材質の物を使用しても良い。
 *組立て溶接はアーク手溶接あるいはガスシールドアーク半自動溶接で行う。

母材との組立て溶接はしない。
 組立て溶接を再溶接させる場合は、開先内に組立て溶接を行ってもよい。

裏当て金の長さ (L)

溶接工法	L
手溶接	35 以上
半自動溶接	35 以上
自動溶接	70 以上

改良スカップ形状

形状	全般	現場溶接部下フランジ部
ロールH	 *半径 r=35 の 1/4 円形状のスカップを取り、フランジとの接点部に半径 r=10 の 1/4 円形状のスカップを裏合せさせた形状とする。	 *半径 r=35 の 1/4 円形状のスカップを取り、フランジとの接点部に半径 r=10 の 1/4 円形状のスカップを裏合せさせた形状とする。
同時組ビルトH	 *半径 r=35 の 1/4 円形状のスカップを取る。*まわし溶接後ならかな凹形状になるようにグラインダーにより半径 r=10 程度に仕上げ。	 *半径 r=35 の 1/4 円形状のスカップを取る。*まわし溶接後ならかな凹形状になるようにグラインダーにより半径 r=10 程度に仕上げ。

ビルトボックス柱のかど継手

*1, *2 は設計者と協議のうえ決定のこと。(サブマージアーク自動溶接)

溶接工法	L
手溶接	35 以上
半自動溶接	35 以上
自動溶接	70 以上

ビルトボックス柱の現場溶接 (BG)

*1 は原則として行わないこと。

板継手部の板厚差の処理

0 ≤ e ≤ 2	2 ≤ e ≤ 5	5 ≤ e

完全溶込み溶接 (BA)

t ≤ 40

S ≤ 4

t	θ	h
19~28	40°	3
32~40	35°	4
45~70	50°	4

部分溶込み溶接 (BP)

t > 40

S ≤ 4

w: 連続する完全溶込み部のビード幅と同じにする。

丸鋼等片面溶接

d/2 d/2

丸鋼等両面溶接

d/2 d/2

軽量形鋼V形溶接

S=tかつS≥3

スニップカット

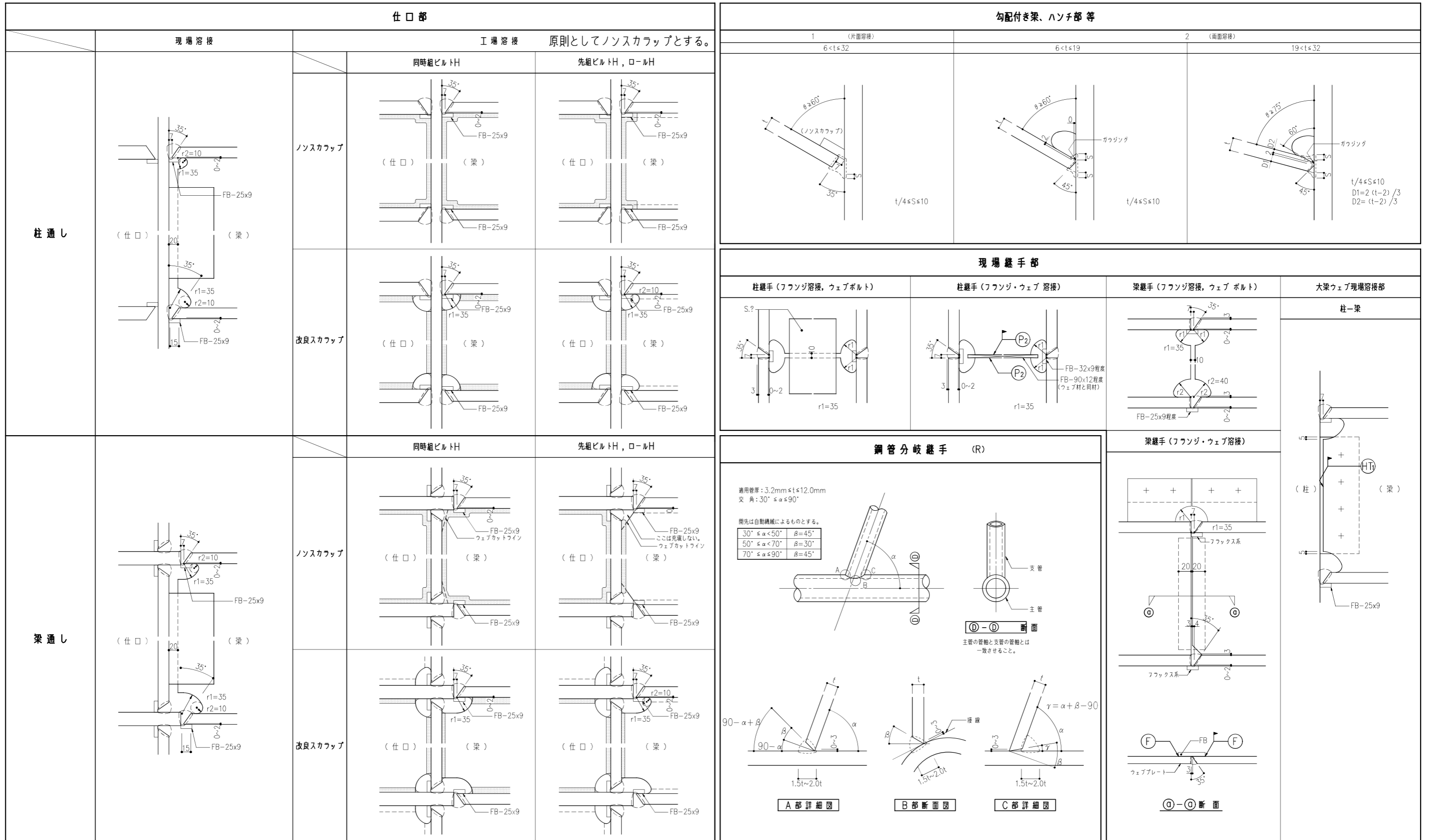
SC

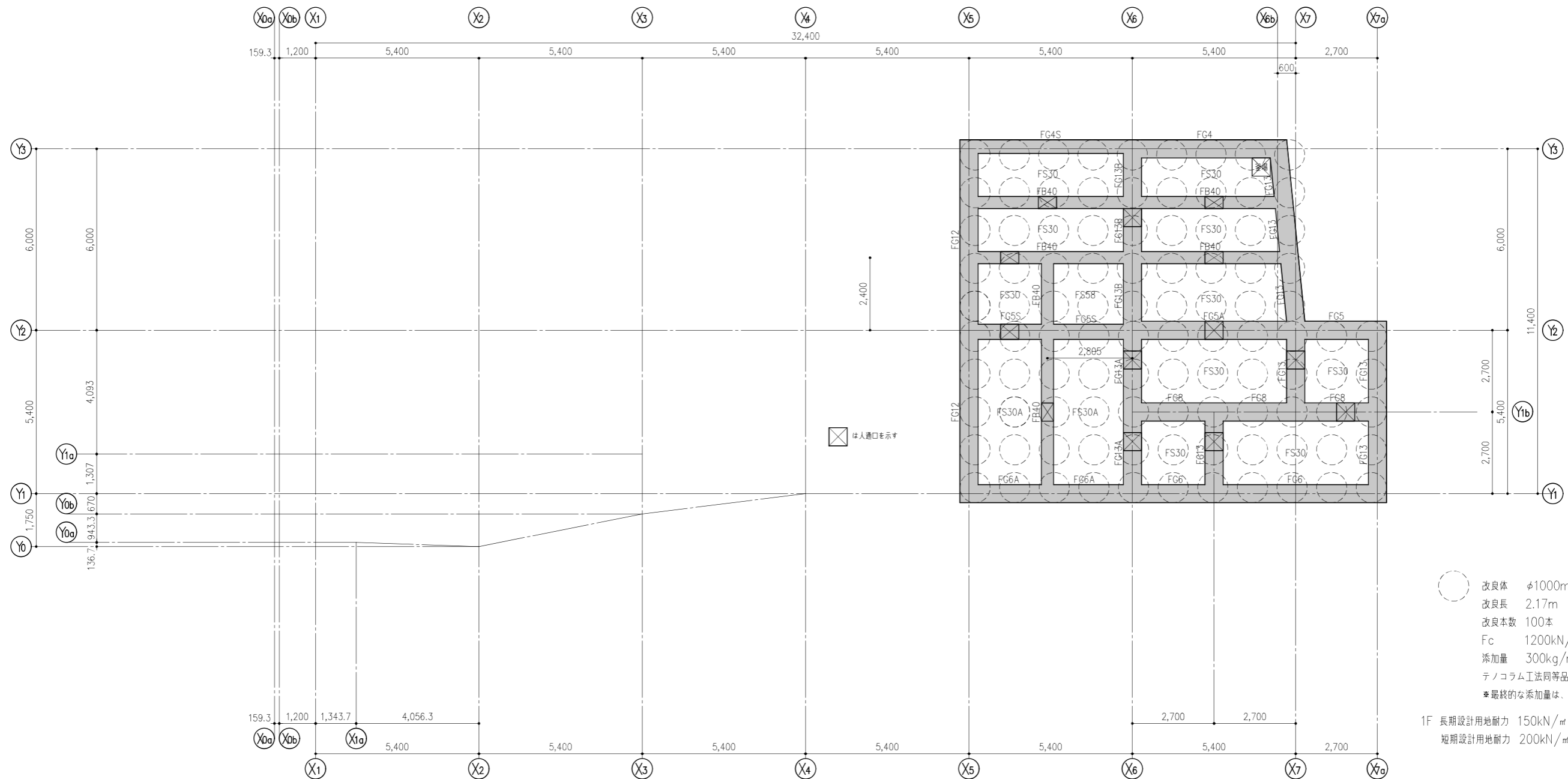
スニップカット部は溶接にて埋めることとする。

バンドプレートの溶接

FB-100×6 仕口部の上下 500 とする。(FB-75×6 @400)

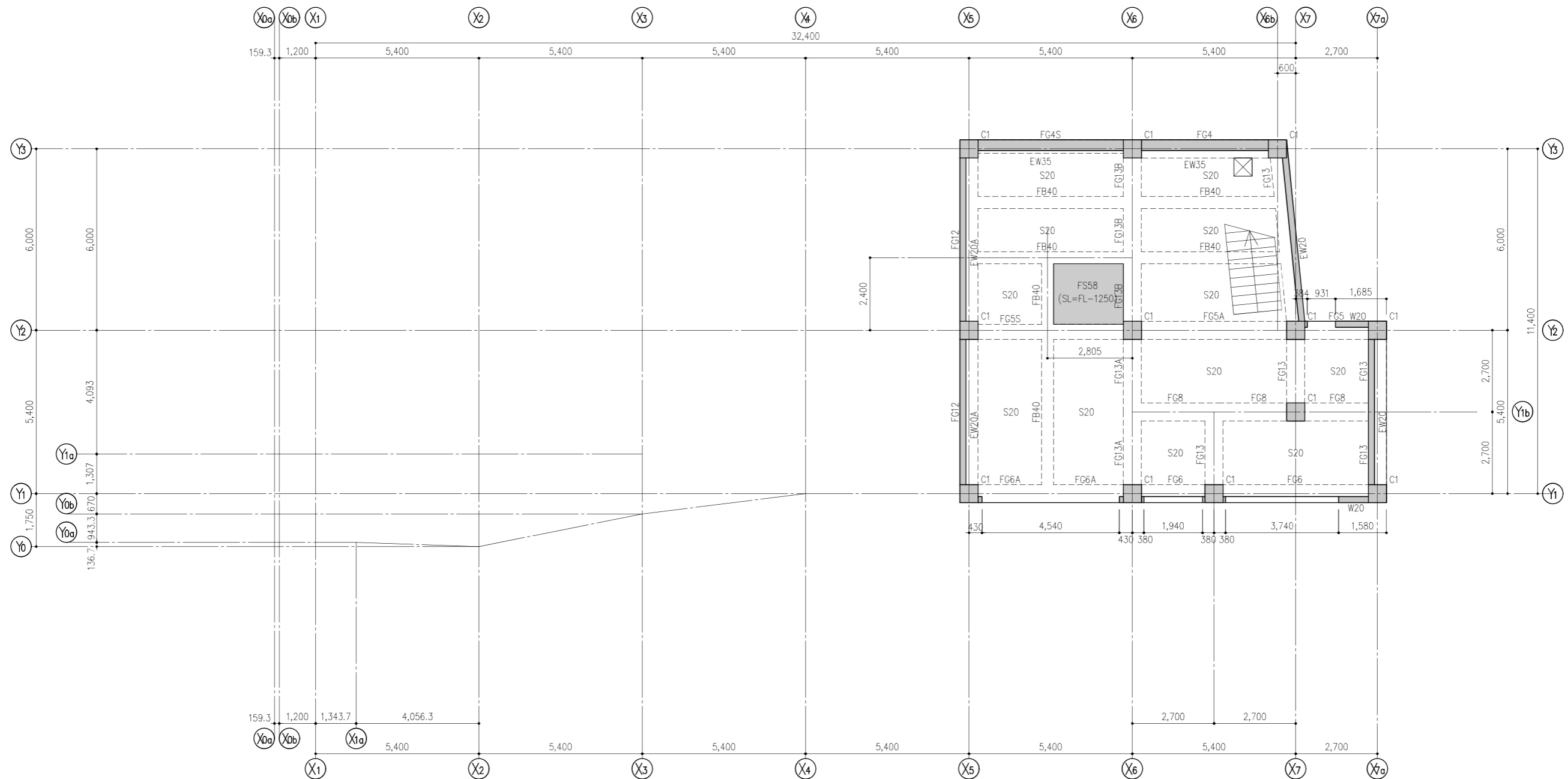
φ80 (55) mm





○ 改良体 φ1000mm
 改良長 2.17m
 改良本数 100本
 Fc 1200kN/m²
 添加量 300kg/m³
 テノコラム工法同等品
 *最終的な添加量は、配合試験を行って決定する
 1F 長期設計用地耐力 150kN/m²
 短期設計用地耐力 200kN/m² 先を満足する仕様とすること

基礎伏図 S=1:150

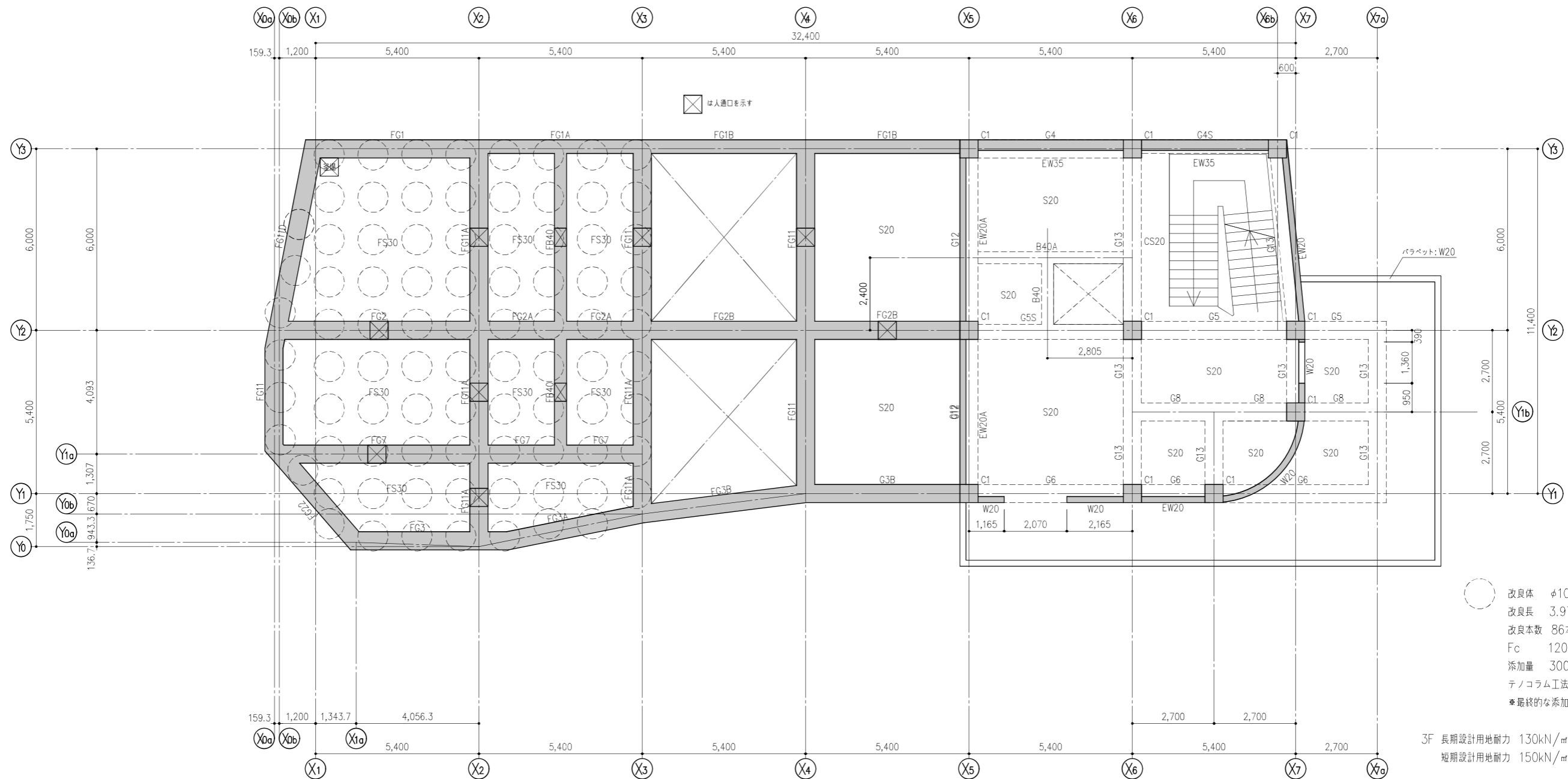


1F伏図 S=1:150

共通事項

- 特記なき限り下記による。
1. 片持ちスラブ符号は CS25 とする。
 2. 特記無きスラブの天端は 1SL=FL-30mm
 3. 特記無き梁の天端レベルは FL-30mm

PROJECT TITLE （仮称）火の山屋内展望施設新築建築主体工事 KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録第32752号 一級建築士登録第359655号 坂本英史	構造設計研究所 KOUSOU KENKAKU ENGINEERING INC.	一級建築士事務所 東京都知事登録第2546号 一級建築士登録第313991号 川端 淳【構造設計】	DRAWING TITLE 上駅 1F伏図 SCALE 1/150	DRAWING No. ST-05 2026.04.17
---	---	--	--	---	------------------------------------

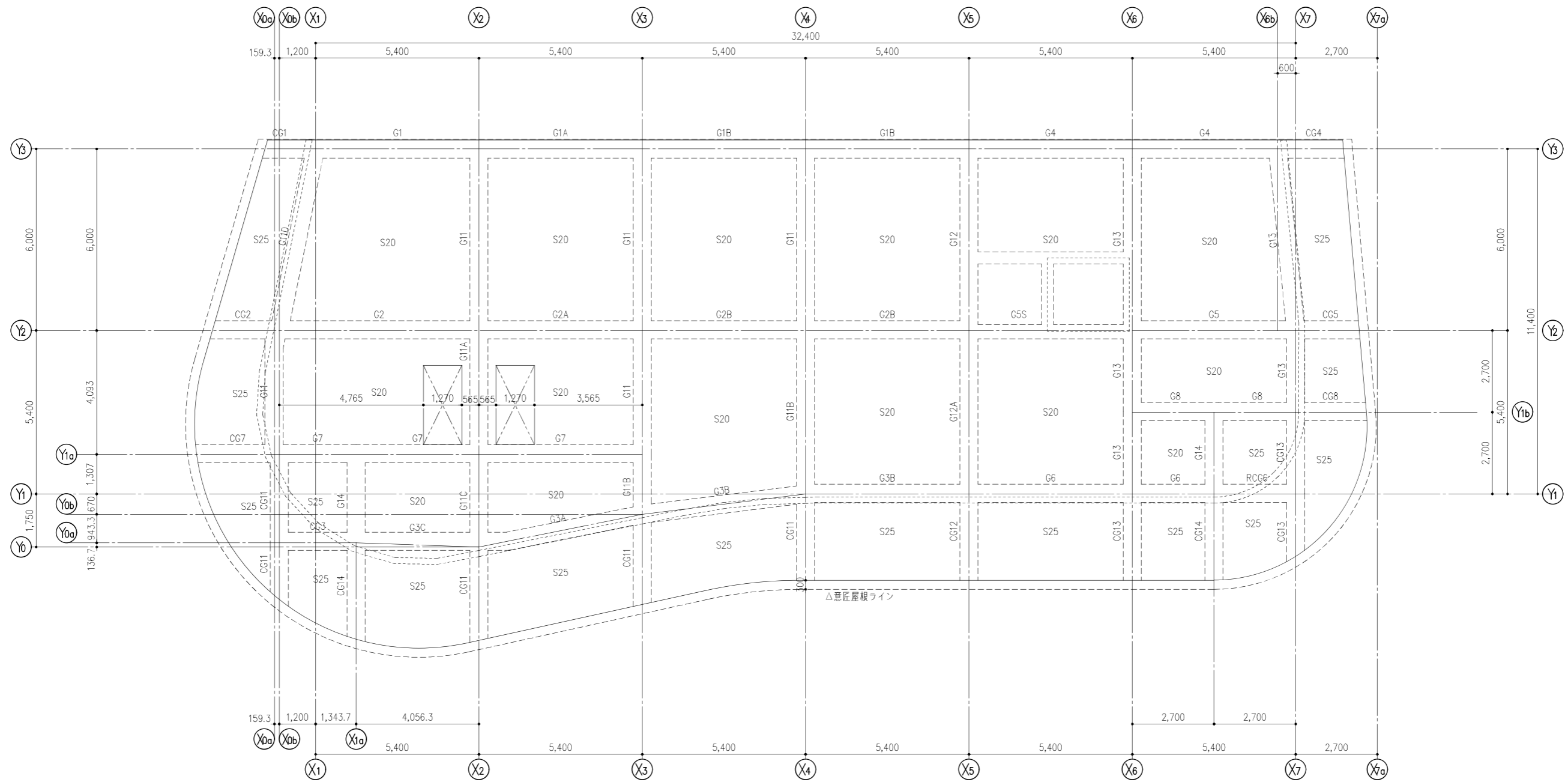


2F伏図 S=1:150

共通事項

- 特記なき限り下記による。
1. 片持ちスラブ符号は CS25 とする。
 2. 特記無きスラブの天端は 2SL=FL-10mm
 3. 特記無き梁の天端レベルは FL-10mm

PROJECT TITLE (仮称)火の山屋内展望施設新築建築主体工事 KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録第32752号 一級建築士登録第359655号 坂本英史		一級建築士事務所 東京都知事登録第2546号 一級建築士登録第313991号 川端 淳【構造設計】	DRAWING TITLE 上駅 2F伏図 SCALE 1/150	DRAWING No. ST-06 2026.04.17
---	---	--	--	---	------------------------------------

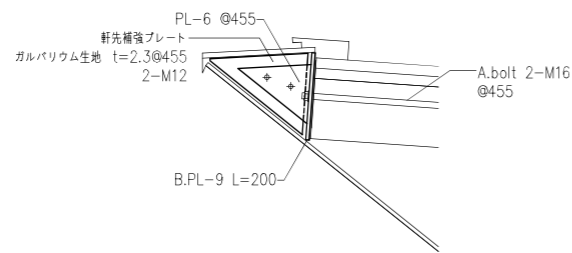


RF伏図 S=1:150

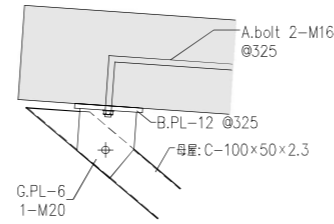
共通事項

- 特記なき限り下記による。
 1. 片持ちスラブ符号は CS25 とする。

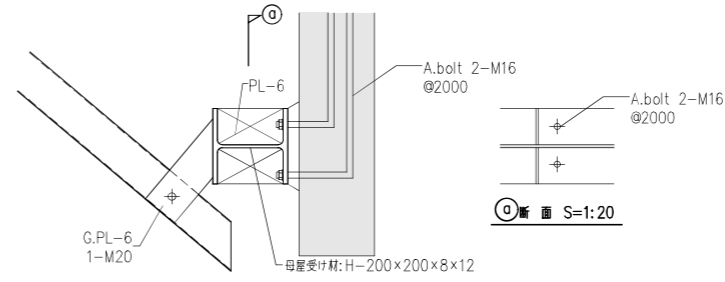
PROJECT TITLE (仮称)火の山屋内展望施設新築建築主体工事 KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録第32752号 一級建築士登録第359655号 坂本英史	構造計画研究所 KENGO KUMAKU ENGINEERING INC.	一級建築士事務所 東京都知事登録第2546号 一級建築士登録第313991号 川端 淳【構造設計】	DRAWING TITLE 上駅 RF伏図	DRAWING No. ST-08
				SCALE 1/150	2026.04.17



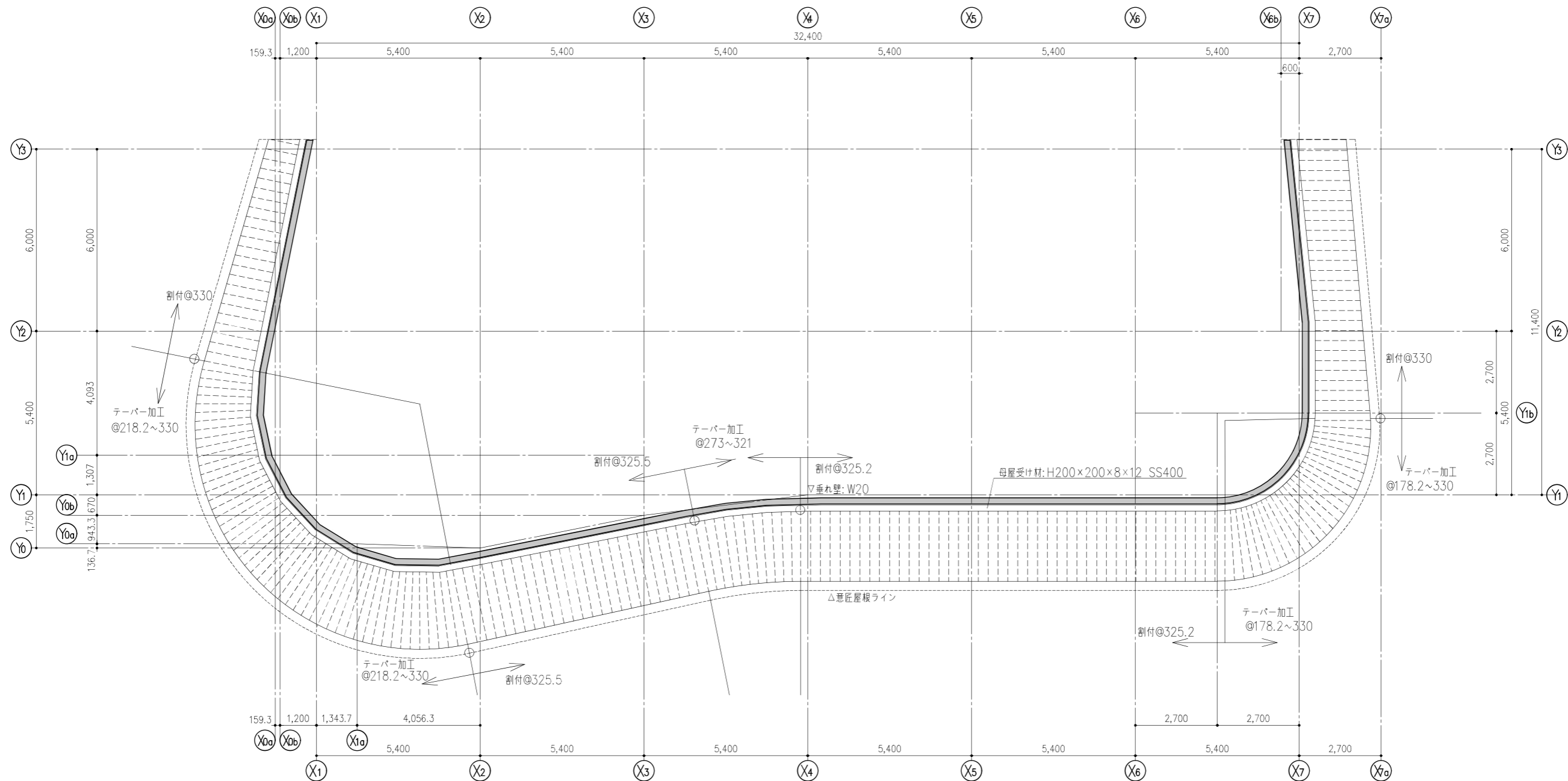
軒先補強詳細図 1/20



母屋先端詳細図 1/20



母屋受け詳細図 1/20



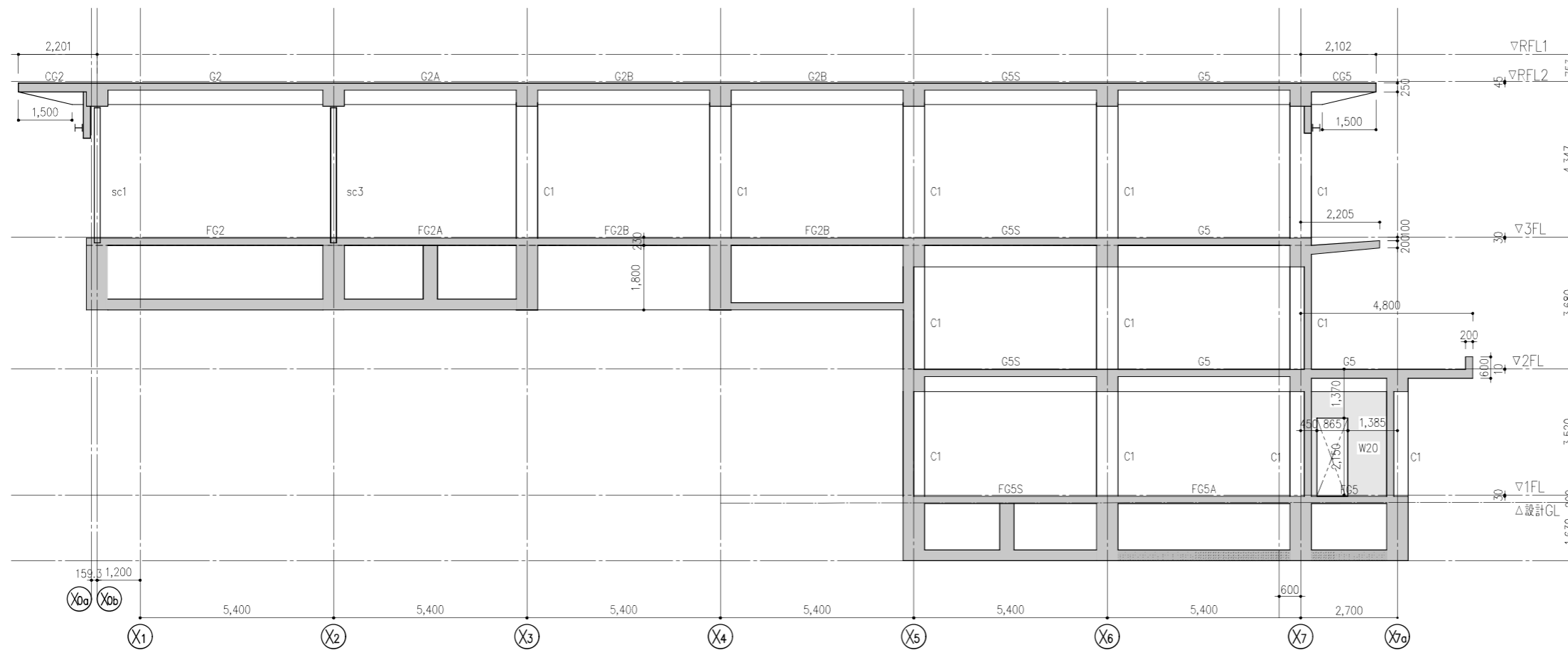
共通事項

特記なき限り下記による。

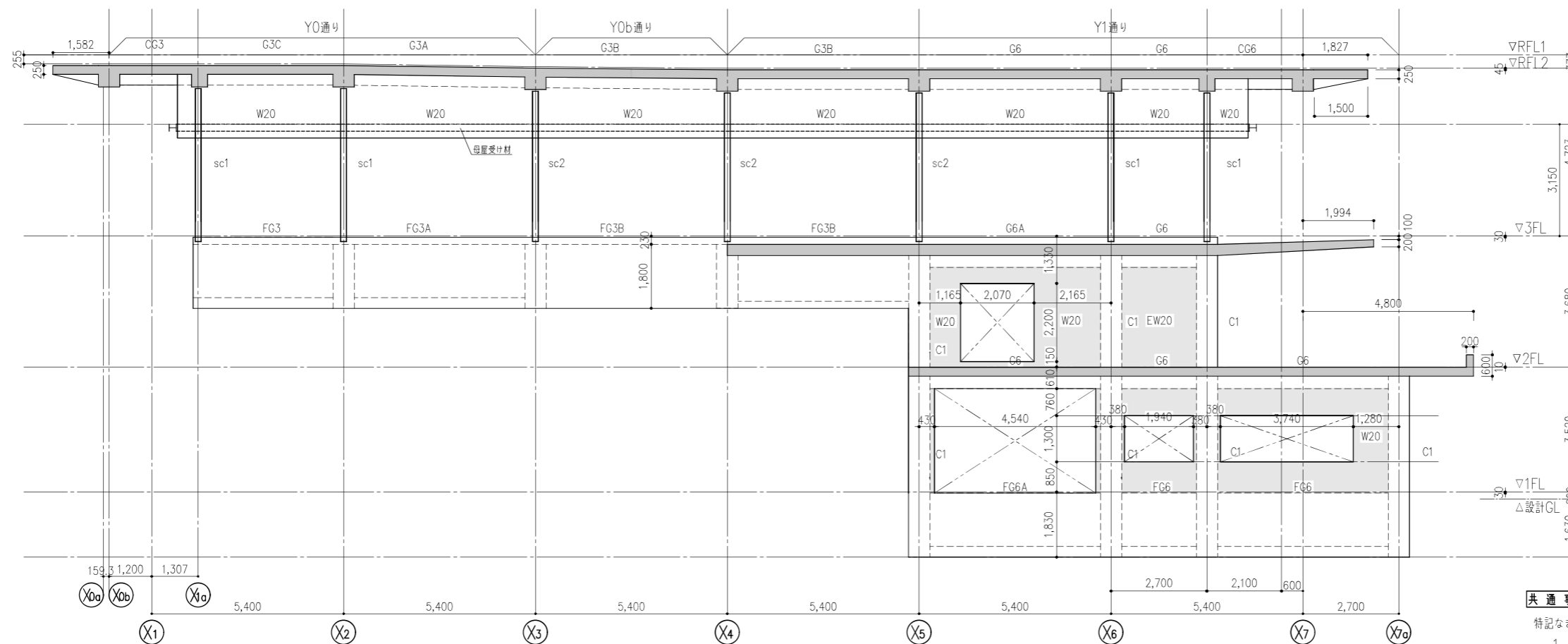
1. 部材表示例

-----母屋: C-100x50x2.3 @325.2

PROJECT TITLE (仮称)火の山屋内展望施設新築建築主体工事 KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録第32752号 一級建築士登録第359655号 坂本英史	構造計画研究所 KOUSAKU KIKAKU KENYAKU KENYAKU	一級建築士事務所 東京都知事登録第2546号 一級建築士登録第313991号 川端 淳【構造設計】	DRAWING TITLE 上駅 軒天伏図 SCALE 1/150, 1/20	DRAWING No. ST-09 2026.04.17
---	---	---	--	---	------------------------------------



Y2通り軸組図 S=1:150

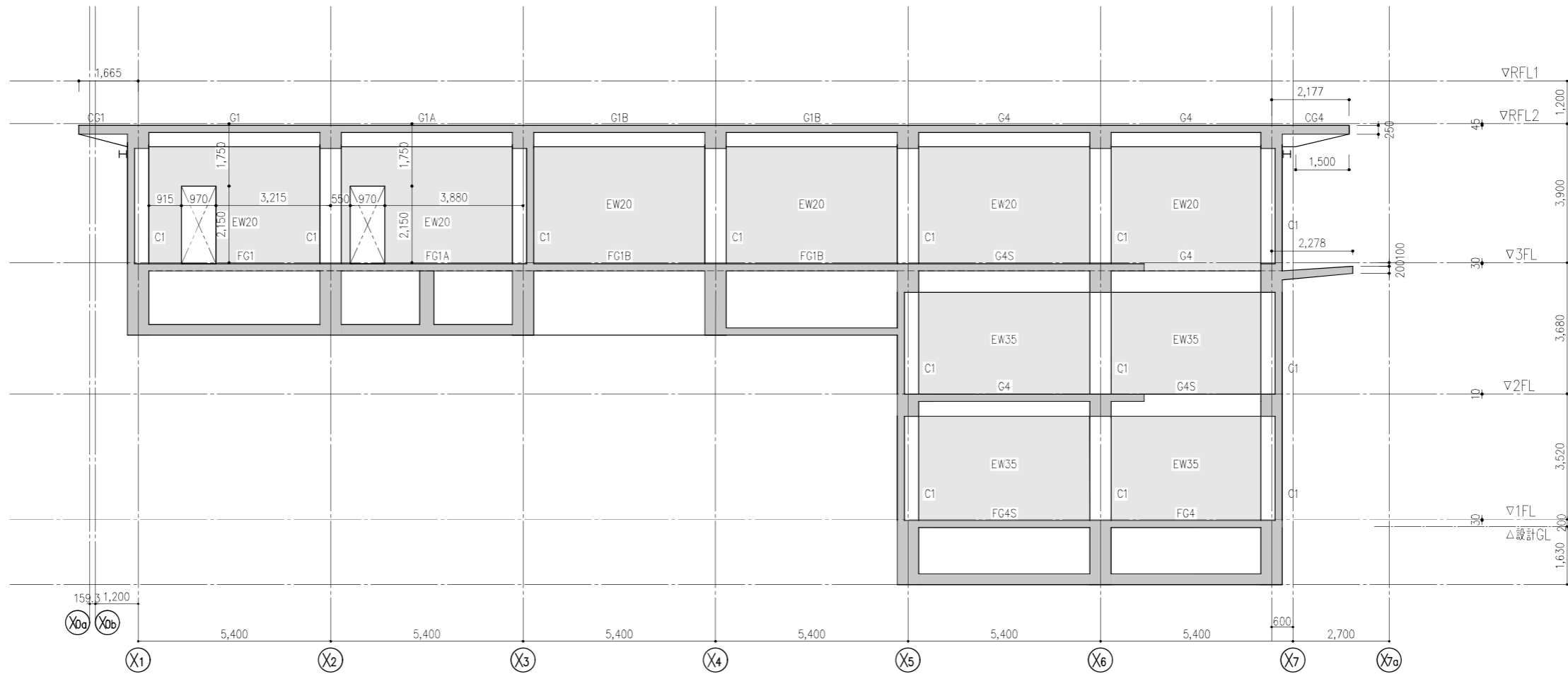


Y0-Y0b-Y1通り軸組図 S=1:150

共通事項

- 特記なき限り下記による。
1. スラブ符号は S20 とする。
 2. 片持ちスラブ符号は CS25 とする。

PROJECT TITLE (仮称)火の山屋内展望施設新築建築主体工事 KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録第32752号 一級建築士登録第359655号 坂本英史	構造計画研究所 KOUZOU KEIKAKU KENYAKU KENYAKU	一級建築士事務所 東京都知事登録第2546号 一級建築士登録第313991号 川端 淳【構造設計】	DRAWING TITLE Y0-Y0b-Y1, Y2通り軸組図 SCALE 1/150	DRAWING No. ST-11 2026.04.17
---	---	---	--	---	------------------------------------

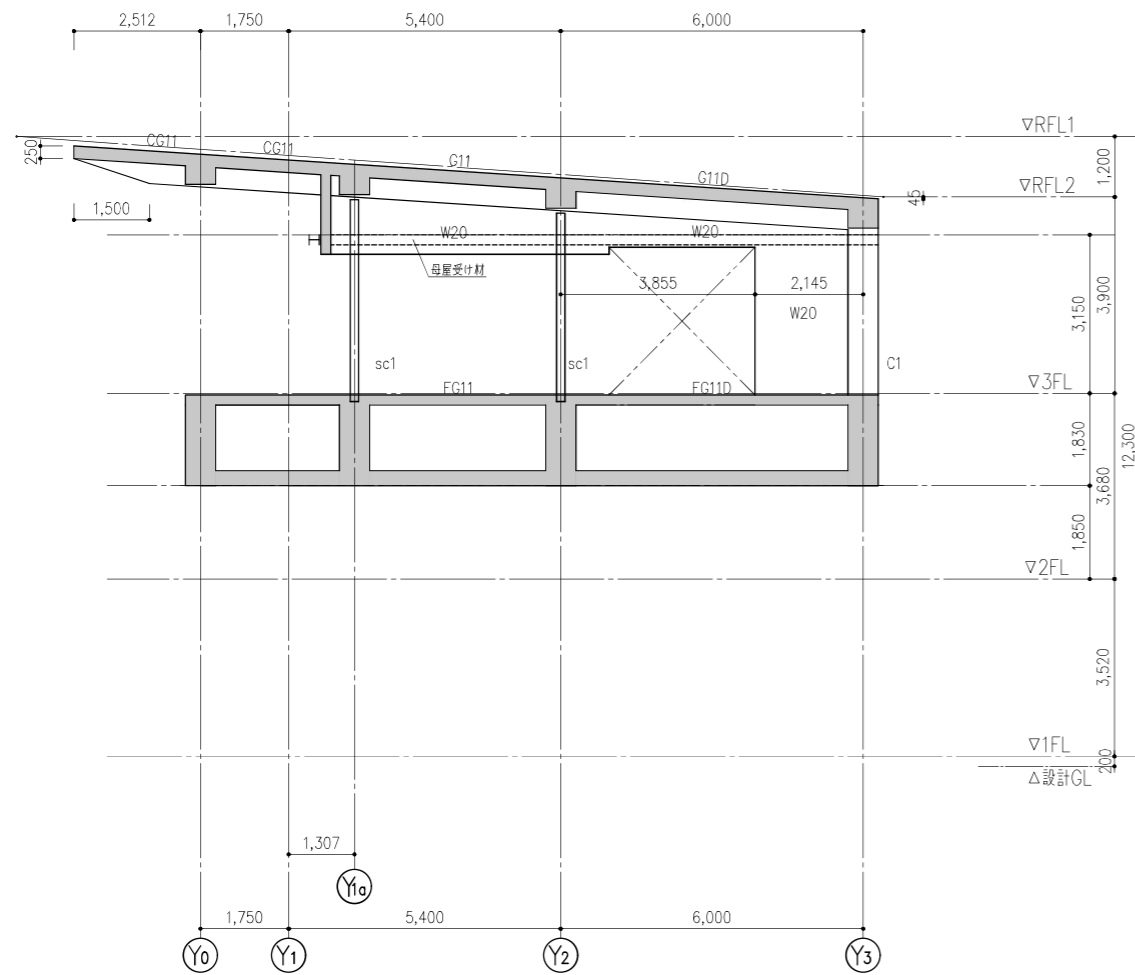


Y3通り軸組図 S=1:150

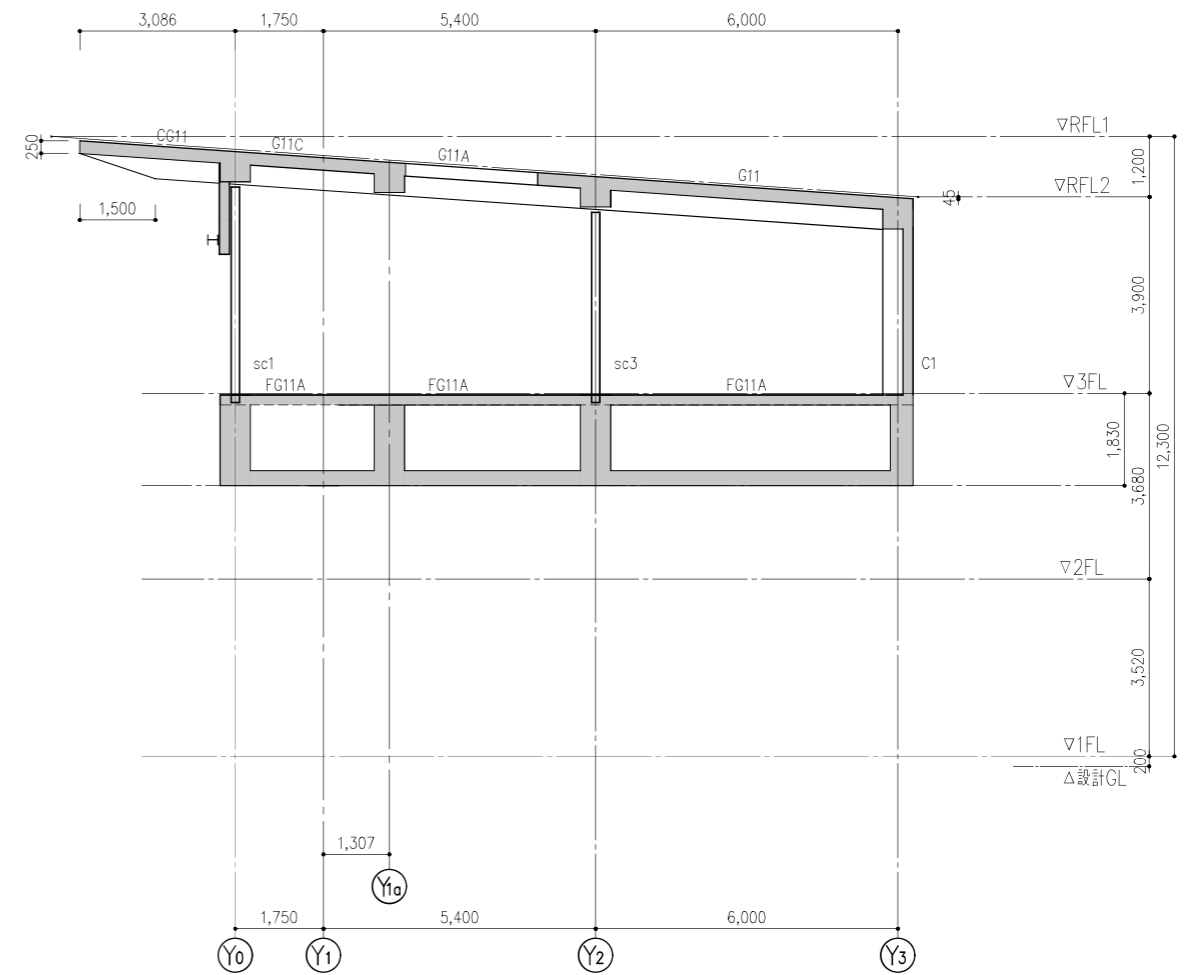
共通事項

- 特記なき限り下記による。
1. スラブ符号は S20 とする。
 2. 片持ちスラブ符号は CS25 とする。

PROJECT TITLE (仮称)火の山屋内展望施設新築建築主体工事 KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録第32752号 一級建築士登録第359655号 坂本英史		一級建築士事務所 東京都知事登録第2546号 一級建築士登録第313991号 川端 淳【構造設計】	DRAWING TITLE Y3通り軸組図 SCALE 1/150	DRAWING No. ST-12 2026.04.17
---	---	--	--	--	------------------------------------



X1通り軸組図 S=1:150

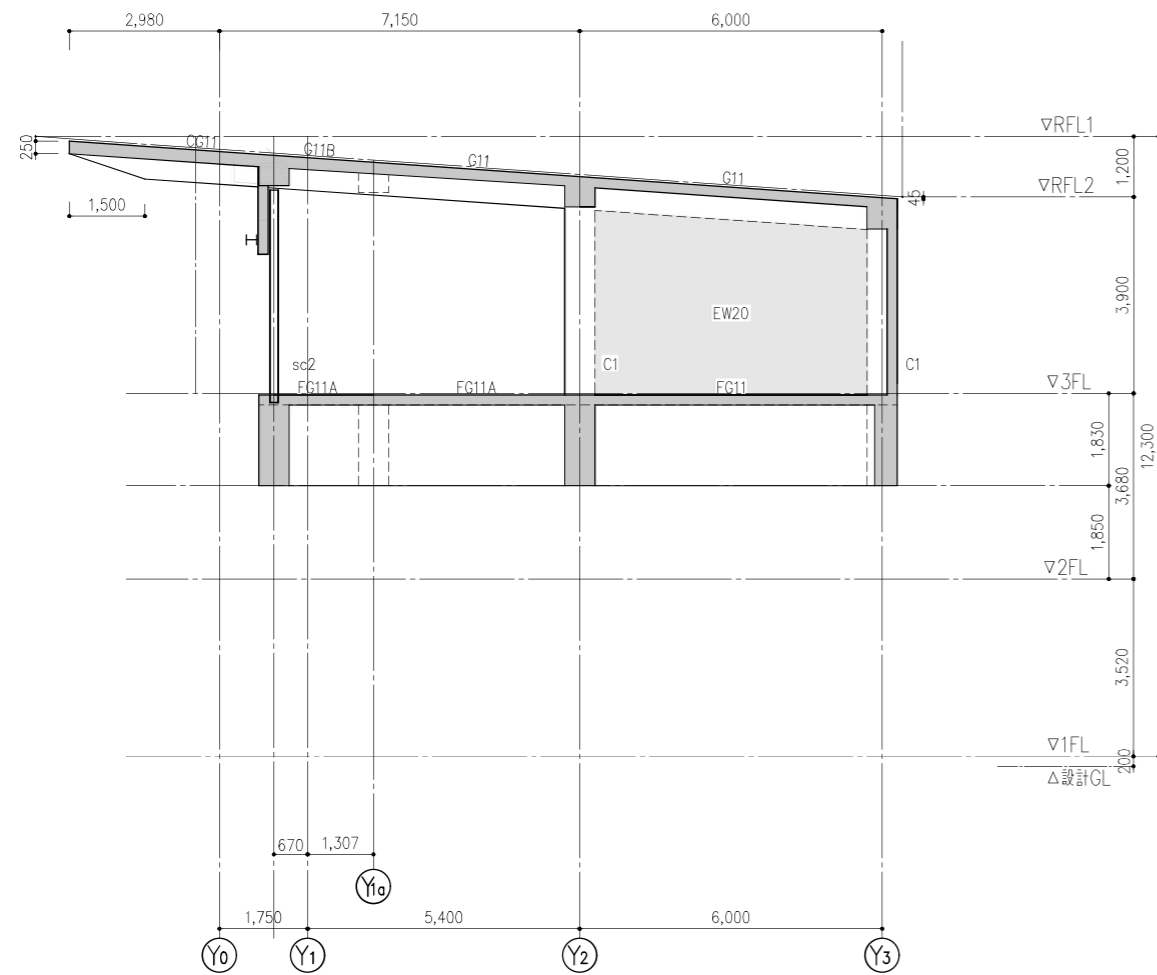


X2通り軸組図 S=1:150

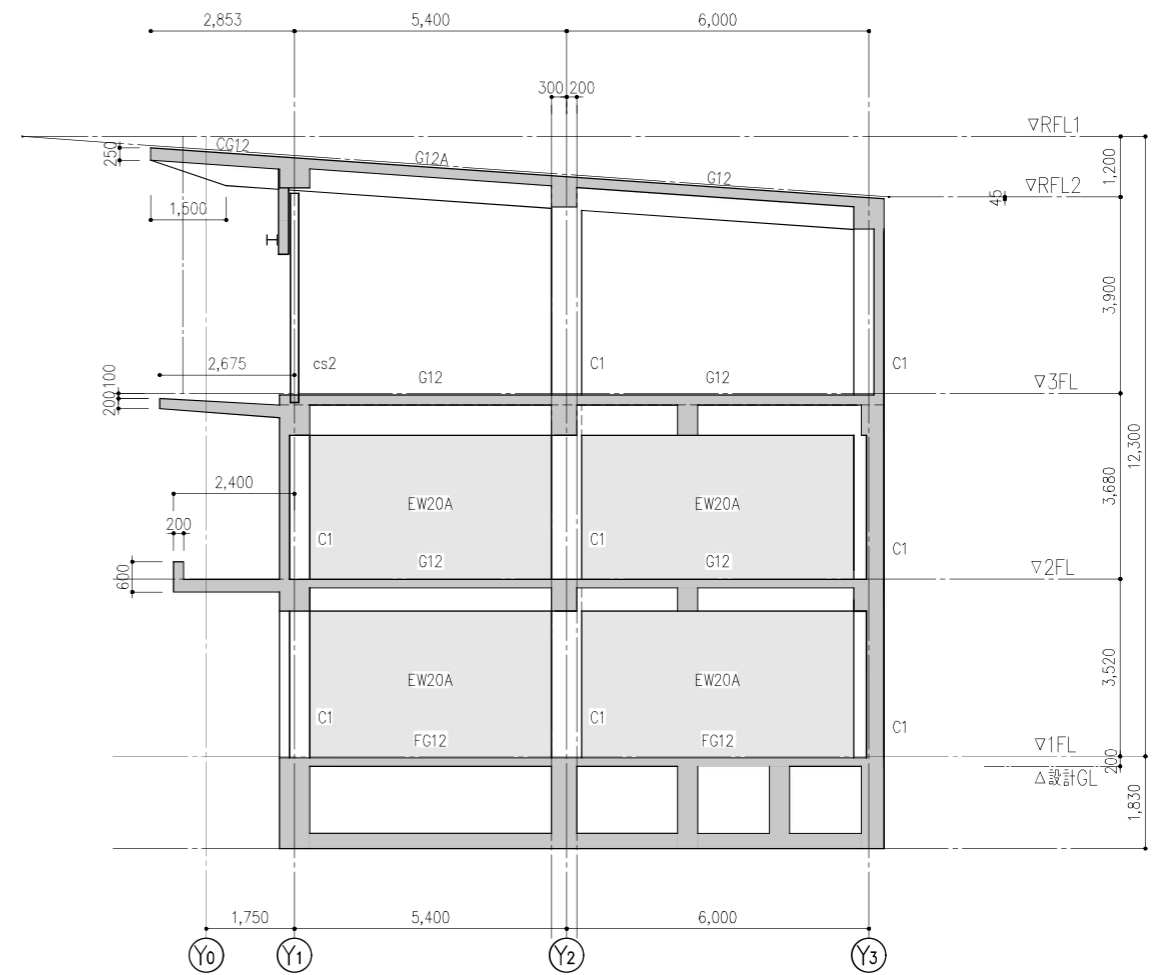
共通事項

- 特記なき限り下記による。
1. スラブ符号は S20 とする。
 2. 片持ちスラブ符号は CS25 とする。

PROJECT TITLE （仮称）火の山屋内展望施設新築建築主体工事 KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録第32752号 一級建築士登録第359655号 坂本英史	構造設計研究所 KOSHO KOKUKAKU ENGINEERING INC.	一級建築士事務所 東京都知事登録第2546号 一級建築士登録第313991号 川端 淳【構造設計】	DRAWING TITLE X1, X2通り軸組図 SCALE 1/150	DRAWING No. ST-13 2026.04.17
---	---	---	--	--	------------------------------------



X3通り軸組図 S=1:150

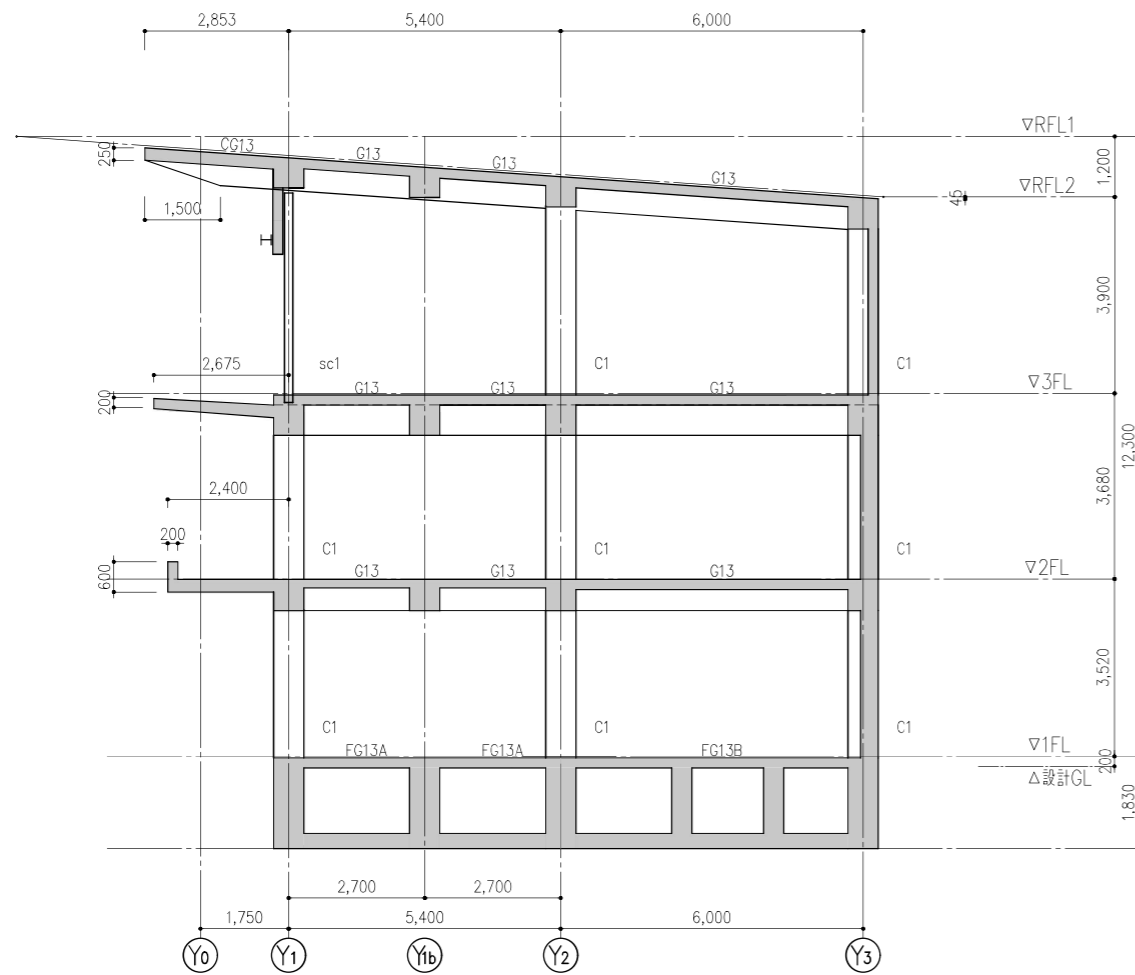


X5通り軸組図 S=1:150

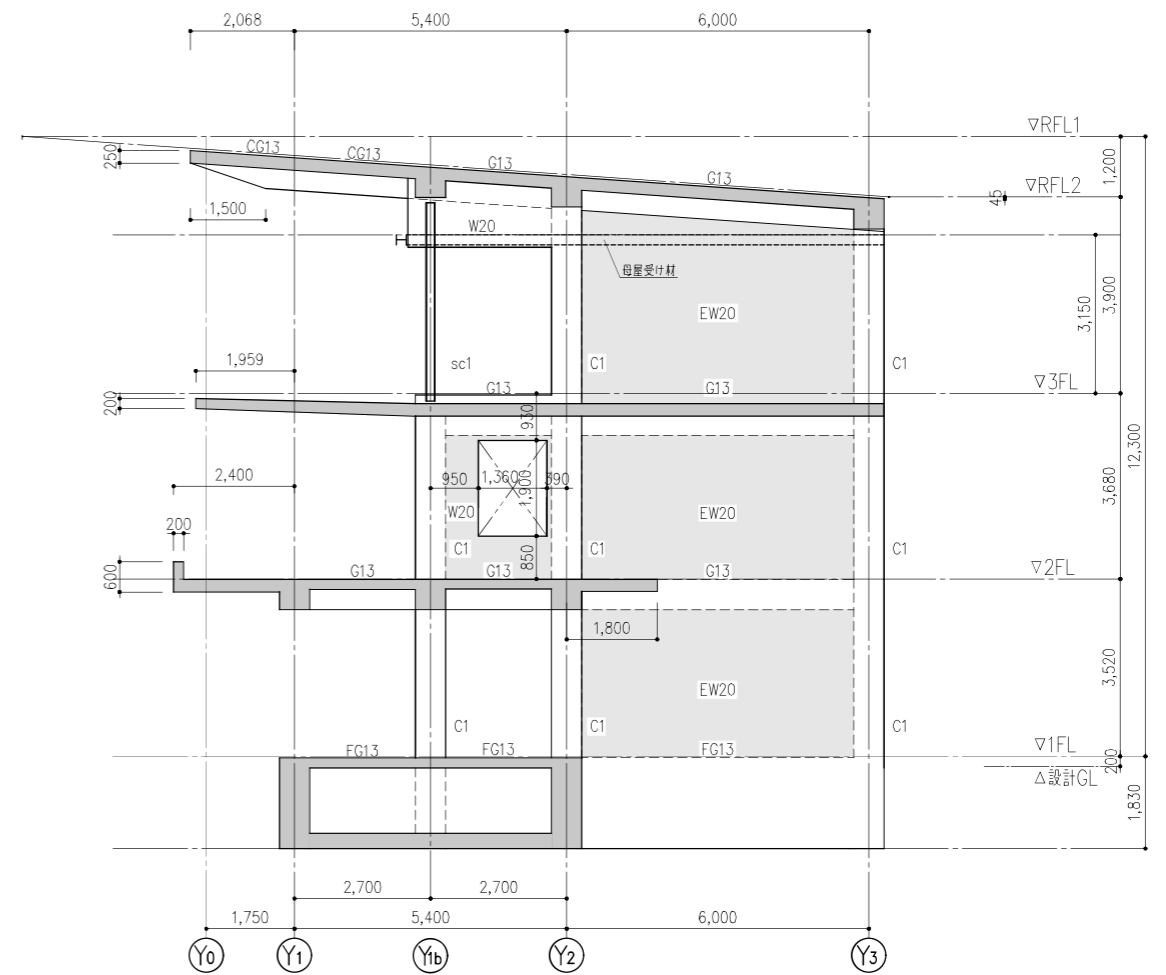
共通事項

- 特記なき限り下記による。
1. スラブ符号は S20 とする。
 2. 片持ちスラブ符号は CS25 とする。

PROJECT TITLE (仮称)火の山屋内展望施設新築建築主体工事 KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録第32752号 一級建築士登録第359655号 坂本英史	構造計画研究所 KOUZOU KEIKAKU KENYAKU KENYAKU INC.	一級建築士事務所 東京都知事登録第2546号 一級建築士登録第313991号 川端 淳【構造設計】	DRAWING TITLE X3, X5通り軸組図 SCALE 1/150	DRAWING No. ST-14 2026.04.17
---	---	---	--	--	------------------------------------



X6通り軸組図 S=1:150



X7通り軸組図 S=1:150

共通事項

- 特記なき限り下記による。
1. スラブ符号は S20 とする。
 2. 片持ちスラブ符号は CS25 とする。

PROJECT TITLE （仮称）火の山屋内展望施設新築建築主体工事 KENGO KUMA & ASSOCIATES 隈研吾建築都市設計事務所	一級建築士事務所 東京都知事登録第32752号 一級建築士登録第359655号 坂本英史	構造計画研究所 KOUZOU KIKAKU KENYAKU SHIKEN KENYAKU INC.	一級建築士事務所 東京都知事登録第2546号 一級建築士登録第313991号 川端 淳【構造設計】	DRAWING TITLE X6, X7通り軸組図 SCALE 1/150	DRAWING No. ST-15 2026.04.17
---	---	---	--	--	------------------------------------

基礎梁・基礎小梁リスト

S=1:100

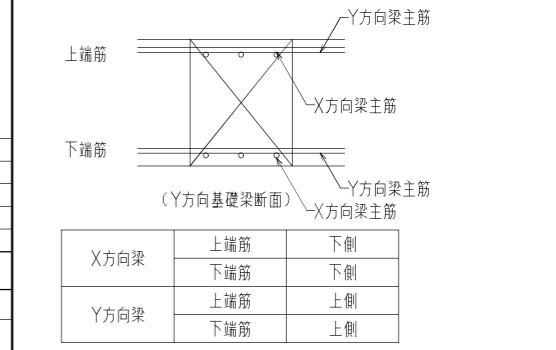
符 号	FG1	FG1A	FG1B	FG2		FG2A		FG2B		FG3	
位 置	全断面	全断面	全断面	X0	中央・X2端	X2 端	中央・X3端	X3	X4	X5	全断面
断面											
b x D	600 x 1800	450 x 1800	450 x 1800	600 x 1800		600 x 1800		600 x 1800		600 x 1800	
上 端 筋	5-D22	4-D22	4-D22	5-D25	5-D25	5-D29	5/4-D29	5/4-D29	5/4-D29	5-D29	5-D22
下 端 筋	5-D22	4-D22	4-D22	5-D25	5/2-D25	5-D29	5-D29	5-D29	5/5-D29	5-D29	5-D22
S T P	2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200		2-D13@200		2-D13@200	2-D13@200
備 考											
符 号	FG3A		FG3B			FG7		FG11	FG11A	FG11D	FG22
位 置	X2 端	中央・X3端	X3	X4	X5	端部	中央	全断面	全断面	全断面	全断面
断面											
b x D	600 x 1800		600 x 1800			600 x 1800		600 x 1800	600 x 1800	600 x 1800	600 x 1800
上 端 筋	5-D25	5/4-D25	5/4-D25	5/4-D25	5-D25	5-D22	5/3-D22	5-D22	5/2-D25	5-D22	5-D22
下 端 筋	5-D25	5-D25	5-D25	5/5-D25	5/5-D25	5-D22	5-D22	5-D22	5/2-D25	5-D22	5-D22
S T P	2-D13@200		2-D13@200			2-D13@200		2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200
備 考											
符 号	FG4	FG4S	FG5	FG5A		FG5S		FG6	FG6A		
位 置	全断面	全断面	全断面	X6端・中央	X7	X5	中央	X7	全断面	X5端 中央	X6
断面											
b x D	600 x 1800	450 x 1800	600 x 1800	600 x 1800		500 x 1800		600 x 1800	600 x 1800		
上 端 筋	5-D22	4-D22	5-D22	5-D25	5-D25	4/4-D25	4/4-D25	4-D25	5-D25	5/2-D25	5-D25
下 端 筋	5-D22	4-D22	5-D22	5/2-D25	5-D25	4-D25	4/3-D25	4/3-D25	5-D25	5-D25	5-D25
S T P	2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200		2-D13@200		2-D13@200	2-D13@200		
備 考											
符 号	FG8	FG12	FG13	FG13A		FG13B		FB40			
位 置	全断面	全断面	全断面	Y1 端	中央・Y2端	Y2	中央	Y3	両端	中央	
断面											
b x D	600 x 1800	600 x 1800	600 x 1800	600 x 1800		600 x 1800		400 x 1800	400 x 1800		
上 端 筋	5-D22	5-D22	5-D22	5-D25	5-D25	5-D25	5/3-D25	5/3-D25	4-D22	4/2-D22	
下 端 筋	5-D22	5-D22	5-D22	5-D25	5/3-D25	5/3-D25	5/3-D25	5-D25	4/2-D22	4-D22	
S T P	2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200		2-D13@200		2-D13@200	2-D13@200		
備 考											

共通事項

特記なき限り下記による。

- b x D
- 鉄筋材質 D19~D25 SD345
D10~D16 SD295
- 上端筋、下端筋凡例
- S T P □D13@200
- 腹筋

600 ≤ D < 900	2-D13 (1 段)
900 ≤ D < 1,200	4-D13 (2 段)
1,200 ≤ D < 1,500	6-D13 (3 段)
1,500 ≤ D < 2,000	8-D13 (4 段)
2,000 ≤ D < 2,500	10-D13 (5 段)
- 幅止め筋 D10@1,000
- 主筋位置

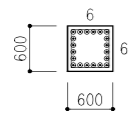


耐圧版配筋表

符 号	版厚	位 置	短辺方向	長辺方向
FS30	300	上 端 筋	D16@200	D16@200
		下 端 筋	D16@200	D16@200
FS30A	300	上 端 筋	D16@200	D16@200
		下 端 筋	D13D16@100	D16@200
FS58	580	上 端 筋	D16@200	D16@200
		下 端 筋	D16@200	D16@200

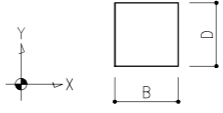
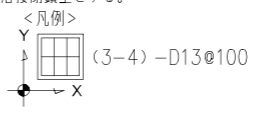
柱断面表

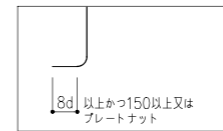
S=1:100

階	符号	C1					
3F	仕口HOOP	2-2-D13@100					
	断面						
	B x D	600 x 600					
	主筋	20-D25					
	HOOP	2-2-D13@100					
備考							
2F	仕口HOOP	2-2-D13@100					
	断面						
	B x D	600 x 600					
	主筋	20-D25					
	HOOP	2-2-D13@100					
備考							
1F	仕口HOOP	2-2-D13@100					
	断面						
	B x D	600 x 600					
	主筋	20-D25					
	HOOP	2-2-D13@100					
備考							

共通事項

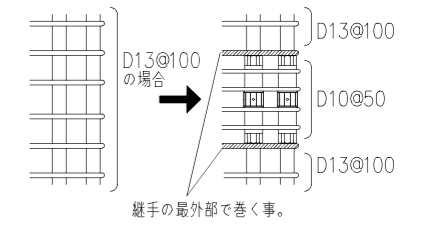
特記なき限り下記による。

- 柱断面

- 鉄筋材質 D29 SD390 (*梁はSD345)
- HOOPは、溶接閉鎖型とする。

- 仕口内HOOPは、溶接閉鎖型又はタガ型とする。
仕口内HOOPは、2-2-D13@100とする。
ただし、仕口部の上階に柱が取り付けられない場合の仕口内HOOPは3-3-D13@100とする。
- 仕口内HOOPの材質は、SD295とする。
- 中子筋は両端とも、180°フックとする。
- 梁への柱主筋の定着は下記とする。



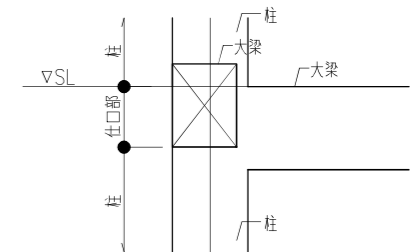
継手部のせん断補強筋

継手部のせん断補強筋のサイズを下げて、ピッチ数を減らすことによって必要せん断補強筋量を満たす。
(目安として、1サイズダウンでピッチを倍)
(鋼種の変更は行わない。)



仕口部範囲図

・仕口部に集まる大梁で相互に重なる範囲を仕口部とする。



鉄骨柱		S=1:40		
符 号	sc1	sc2	sc3	
柱				
断面	○ - 165.2 × 11	○ - 165.2 × 11	○ - 165.2 × 11	
材質	STK400	STK400	STK400	
トッププレート	T.PL-22×φ225 (SN400B)	T.PL-22×φ225 (SN400B)	T.PL-22×φ225 (SN400B)	
頭 部				
脚 部				
ベースプレート	B.PL-19×326×200 (SN400B)	B.PL-19×326×200 (SN400B)	B.PL-19×326×200 (SN400B)	
アンカーボルト	2-M16 二重ナット締め (ABR400) L=400	2-M16 二重ナット締め (ABR400) L=400	2-M16 二重ナット締め (ABR400) L=400	
備 考				

大梁リスト (1)

S=1:100

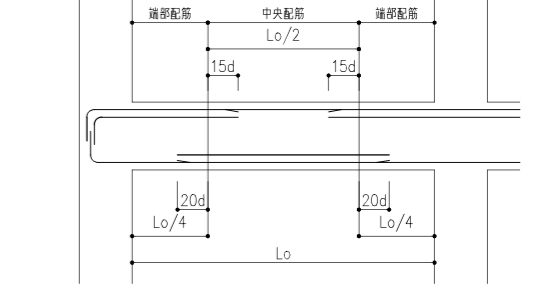
階	符 号	G1	G1A	G1B	G2	G2A	G2B	G3A	G3B	G3C							
	位 置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	X1a 端	中央・X2端						
RFL	断 面																
	B × D	600 × 550	600 × 550	600 × 550	600 × 550	600 × 550	600 × 550	600 × 550	600 × 550	600 × 550							
	上 端 筋	5-D22	5-D22	5-D22	5-D22	5-D25	5-D25	5-D22	5-D22	5/2-D22	5-D22						
	下 端 筋	5-D22	5-D22	5-D22	5-D22	5-D25	5-D25	5-D22	5-D22	5-D22	5-D22						
	S T P	2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200							
	腹 筋	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
備 考																	
階	符 号	G4	G4S	G5	G5S	G6	G6A		G7	G8	G11	G11A	G11B		G11C		
	位 置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	X5端	中央・X6端	全断面	全断面	全断面	全断面	Y0b, Y1端・中央	他 端	Y0 端	中央・Y1a端	
RFL	断 面																
	B × D	600 × 550		600 × 550	500 × 550	600 × 550			600 × 550	600 × 550	600 × 650	600 × 650	600 × 650		600 × 650		
	上 端 筋	5-D22		5-D22	4-D22	5-D22			5-D22	5-D22	5-D22	5-D22	5/2-D22	5-D22	5/2-D22	5-D22	
	下 端 筋	5-D22		5-D22	4-D22	5-D22			5-D22	5-D22	5-D22	5/2-D22	5-D22	5-D22	5/2-D22	5/2-D22	
	S T P	2-D13@200		2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200			2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200		2-D13@200		
	腹 筋	-		-	-	-			-	-	-	-	-		-		
備 考																	
3FL	断 面																
	B × D	600 × 600	450 × 600	600 × 600	500 × 600	600 × 600	600 × 600	600 × 600	600 × 600	600 × 600	600 × 600	600 × 600	600 × 600		600 × 600		
	上 端 筋	5-D22	4-D22	5-D22	4-D25	5-D22	5/2-D25	5-D25	5-D22	5-D22	5-D22	5-D22	5/2-D22	5-D22	5/2-D22	5-D22	
	下 端 筋	5-D22	4-D22	5-D22	4-D25	5-D22	5-D25	5-D25	5-D22	5-D22	5-D22	5/2-D22	5-D22	5-D22	5/2-D22	5/2-D22	
	S T P	2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200		2-D13@200		
	腹 筋	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-		
備 考																	
2FL	断 面																
	B × D	600 × 600	450 × 600	600 × 600	500 × 600	600 × 600	600 × 600	600 × 600	600 × 600	600 × 600	600 × 600	600 × 600	600 × 600		600 × 600		
	上 端 筋	5-D22	4-D22	5-D22	4-D22	5/1-D22	4-D22	5-D22	5-D22	5-D22	5-D22	5-D22	5-D22		5-D22		
	下 端 筋	5-D22	4-D22	5-D22	4-D22	5-D22	4-D22	5-D22	5-D22	5-D22	5-D22	5-D22		5-D22		5-D22	
	S T P	2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200		2-D13@200		2-D13@200	
	腹 筋	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-		-	
備 考																	

共通事項

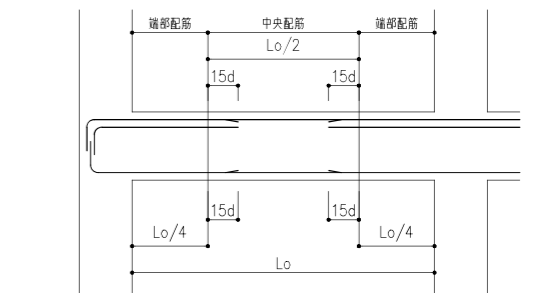
特記なき限り下記による。

- 梁断面
- 鉄筋材質 D29 SD345 (*柱はSD390)
D19, D22, D25 SD345
D10, D13 SD295
- 幅止め筋は D10 @1,000 以内とする。
- 中子筋は、180°フックとする。
- 梁主筋の柱内への水平定着長さは、0.75D以上とする。
- ねじれ補強筋は、柱内にL2以上定着もしくは通し筋とする。
ねじれ補強筋は、腹筋に置き替え可とする。

カットオフ位置



a) 中央部下端筋が端部下端筋よりも本数が多い場合



b) 端部下端筋が中央部下端筋よりも本数が多い場合

大梁リスト (2)

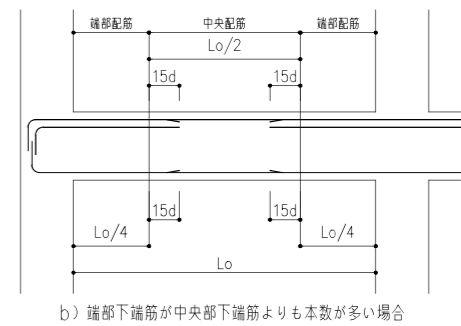
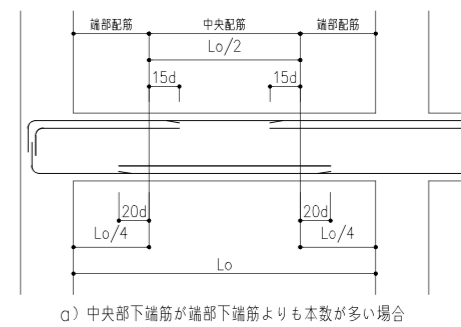
S=1:100

階	符 号	G11D		G12	G12A		G13	G14	G21
	位 置	Y2 端	中央・Y3端	全断面	Y1 端	中央・Y2端	全断面	全断面	全断面
RFL	断面								
	B x D	600 x 650		600 x 650	600 x 650		600 x 650	600 x 450	
	上 端 筋	5-D22	5/1-D22	5-D22	5/2-D22	5-D22	5-D22	5-D22	
	下 端 筋	5-D22	5-D22	5-D22	5-D22	5-D22	5-D22	5-D22	
	S T P	2-D13@200		2-D13@200	2-D13@200		2-D13@200	2-D13@200	
	腹 筋	-		-	-		-	-	
3FL	断面								
	B x D			600 x 600			600 x 600	400 x 600	
	上 端 筋			5-D22			5-D22	3-D22	
	下 端 筋			5-D22			5-D22	3-D22	
	S T P			2-D13@200			2-D13@200	2-D13@200	
	腹 筋			-			-	-	
2FL	断面								
	B x D			600 x 600			600 x 600		
	上 端 筋			5-D22			5-D22		
	下 端 筋			5-D22			5-D22		
	S T P			2-D13@200			2-D13@200		
	腹 筋			-			-		

共通事項

- 特記なき限り下記による。
- 梁断面
 - 鉄筋材質 D29 SD345 (*柱はSD390)
D19, D22, D25 SD345
D10, D13 SD295
 - 幅止め筋は D10 @1,000 以内とする。
 - 中子筋は、180°フックとする。
 - 梁主筋の柱内への水平定着長さは、0.75D以上とする。
 - ねじれ補強筋は、柱内にL2以上定着もしくは通し筋とする。
ねじれ補強筋は、腹筋に置き替え可とする。

カットオフ位置



片持ち梁・小梁リスト

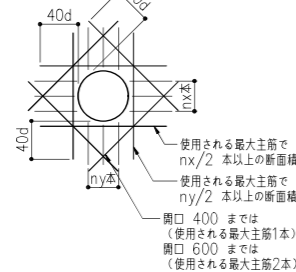
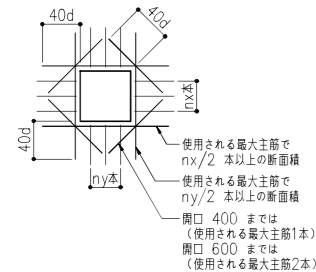
符 号	CG1	CG2	CG3		CG4	CG5	CG6	CG7	CG8	CG11		CG12		CG13	
位 置	全断面	全断面	元 端	中央・先端	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面	元端・中央	先 端	元端・中央	先 端	元端・中央	先 端
断面															
B x D	600 x 550	600 x 550	600 x 550		600 x 550	600 x 550	600 x 550	600 x 550	600 x 550	600 x 650		600 x 650		600 x 650	
上 端 筋	5-D22	5-D25	5/2-D22	5-D22	5-D22	5-D22	5-D22	5-D22	5-D22	5/2-D22	5-D22	5/2-D22	5-D22	5/2-D22	5-D22
下 端 筋	5-D22	5-D25	5-D22	5-D22	5-D22	5-D22	5-D22	5-D22	5-D22	5-D22	5-D22	5-D22	5-D22	5-D22	5-D22
S T P	2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200		2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200	2-D13@200		2-D13@200		2-D13@200	
腹 筋	-	-	-		-	-	-	-	-	-		-		-	
符 号	CG14				B40	B40A									
位 置	元端・中央	先 端			全断面	全断面									
断面															
B x D	600 x 450				400 x 600	400 x 600									
上 端 筋	5/2-D22	5-D22			4-D19	4-D22									
下 端 筋	5-D22	5-D22			4-D19	4-D22									
S T P	2-D13@200				2-D13@200	2-D13@200									
腹 筋	-				-	-									

床版配筋表					
符号	厚さ	位置	短辺方向 (主筋方向)	長辺方向 (配筋方向)	備考
S20	200	上端筋	D13@200	D13@200	
		下端筋	D13@200	D13@200	
S25	250	上端筋	D13@200	D13@200	
		下端筋	D13@200	D13@200	
CS20	200	上端筋	D13@100	D13@200	
		下端筋	D13@200	D13@200	
CS25	250	上端筋	D13@100	D13@200	
		下端筋	D13@200	D13@200	

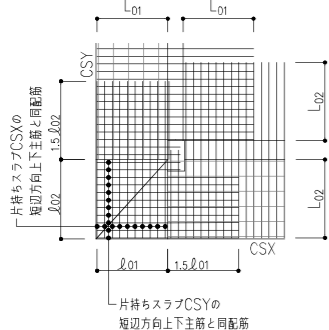
共通事項

特記なき限り下記による。

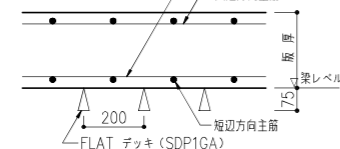
- 表中の D はダブル配筋を示し、D.C. はダブルクロス配筋を示す。
- 床スラブ開口補強
本要領は鉄骨造の柱とプレースまわりにも適用する。
(1) 在来工法 および フラットデッキスラブ
(開口の大きさは600まで)



- 片持ちスラブ出隅部分配筋要領



- 配筋要領
フラットデッキ



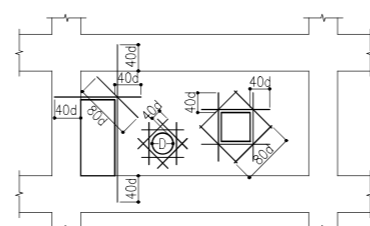
- デッキプレートの板厚
フラットデッキ
- | | |
|----------------------|-------------------|
| $L \leq 2.42$ | $t = 0.8$ |
| $2.42 < L \leq 2.75$ | $t = 1.0$ |
| $2.75 < L \leq 2.90$ | $t = 1.2$ |
| $2.90 < L \leq 3.02$ | $t = 1.4$ |
| $3.02 < L \leq 3.13$ | $t = 1.6$ (変換工併用) |

壁断面表						S=1:100
符号	W20	EW20	EW20A	EW35		
横断面						
	200	200	200	350		
縦筋	D13@200 D.	D13@200 D.	D13@200 D.	D13@200 D.		
横筋	D13@200 D.	D13@200 D.	D10D13@100 D.	D13@200 D.		
開口部補強筋	縦筋	4-D13	4-D13	4-D13		
	横筋	4-D13	4-D13	4-D13		
	斜筋	2-D10	2-D10			
端部補強筋						
備考						

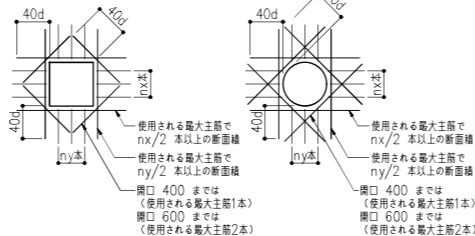
共通事項

特記なき限り下記による。

- 表中の S はシングル配筋、D はダブル配筋を示す。
- ダブル配筋の場合、幅止め筋 D10@1,000を入れる。版厚が 700 以上の場合は D10@600 とする。
- 壁自由端のキャップタイは配筋要領による。
- 開口部補強要領
(1) 開口の1辺の大きさが 600 以上

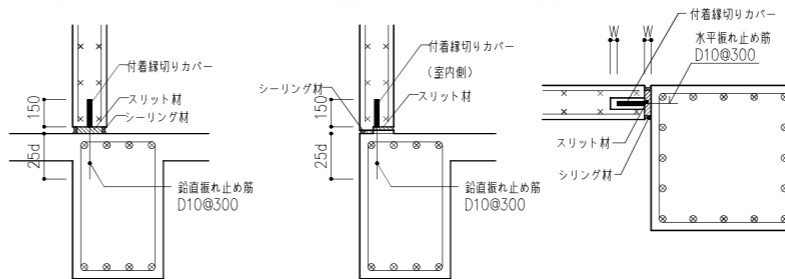


- 開口の1辺の大きさが 600 以下



開口補強筋は、壁主筋の内側に設けること。

- スリット要領
(1) 完全スリット部



- W=ho/100 以上かつ 25mm以上
- ho=補壁の高さまたは縦壁、たれ壁の長さ
- 振れ止め筋はステンレス鉄筋またはエポキシ樹脂鉄筋または溶融亜鉛メッキ鉄筋とする。
- 水平振れ止め筋は幅 400 mm以下の補壁の場合に設けることを原則とし、協議の上決定することとする。

